四日市大学地域パトロール部（四日市市）

学生パワーで地域の防犯！

地域住民と拍子木打ってパトロール

1　活動地域

四日市市は、四日市港を中心として発展した商工業都市で、人口は約３０万人です。

私たちが活動する四日市市あさけが丘地区と大矢知地区は、四日市市の北部に位置する地域で、あさけが丘地区は三岐鉄道三岐線山城駅の近くに位置する団地、大矢知地区は近鉄、三岐鉄道、ＪＲの３つの鉄道と、北勢バイパス、東名阪自動車道、国道１号などの道路が周辺を走る交通の要所であり、住宅と商工業が混在し発展している地域です。

2　団体の概要

平成２２年に、「お世話になっている地域に何かできないか？」という思いから、住民が「自主的に防犯維持ができる」ように手伝うことを活動理念に、２名で活動をスタートしました。

当初は地域住民に認知されることを重点に、四日市北地区防犯協会や自治会と連携して活動しながら、月３回徒歩での防犯パトロール活動を実施していました。

地域の方が、拍子木を作り、提供していただいたことをきっかけに、拍子木を打ちながら徒歩で防犯パトロールをするスタイルとなりました。

現在は部員９名の他、地域住民４名、四日市北地区防犯協会１名と一緒に活動しています。

3　活動内容

(1)　徒歩での防犯パトロール

月２回ずつ、あさけが丘地区と大矢知地区を、地域住民の方や四日市北地区防犯協会の方と一緒に、拍子木を打ちながら徒歩でパトロールしています。

主に、犯罪の起こりやすい場所（ホットスポット）を探し、重点的なパトロールを実施しています。

また、パトロール中は地域住民の方との交流をメインに、空き巣や車上ねらいなどの犯罪被害防止を呼びかけているほか、盗難被害に遭うおそれのある消火ホースの収納庫内の確認を行っています。

(2)　環境美化活動

パトロール中はゴミ袋を持ち、ゴミ拾いを行うことで、きれいで犯罪が起きにくい街作りに協力しています。

(3)　警察や関係団体と連携し広報啓発活動

四日市北警察署、交通安全協会、防犯協会と連携して高齢者世帯を訪問し、特殊詐欺被害防止と交通事故防止についてチラシを渡しながら説明するなどして、広報啓発活動を行うなど、公的機関との連携強化も図っています。

(4)　情報発信

私たちの活動を多くの人に知っていただくため、あさけが丘地区では、月刊誌「地パトニュース」を発行しているほか、ＳＮＳを活用し、活動の様子を定期的に発信しています。

4　活動頻度

(1)　毎月第１から第４火曜日の月４回

(2)　その他のイベント等へは、希望者のみが参加

5　課題

(1)　部員の確保

(2)　活動場所までの移動手段

6　課題の解決に向けた取組方策

(1)　活動人員の確保

新入生の入学時期には、新入生に対して勧誘活動を行っているほか、地域パトロールやイベントへの参加結果について、積極的に大学内でＰＲしています。

また、部員の多くは四日市大学の学生ですが、年齢などに関係なく誰でも入部できるようにしており、各種ＳＮＳを通じて部外に情報発信し、活動への参加を呼びかけています。

(2)　移動手段の確保

現在は、四日市北地区防犯協会の方の協力を得て、車に同乗させてもらい移動するなどのほか、部員のバイク等で移動していますが、安定的な移動手段がないことから、今後、移動手段の確保が課題です。